

平成 22 年 度

事 業 報 告 書

財団法人 北海道生涯学習協会

平成22年度事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

1 会務の状況

◇ 理事会・評議員会の開催状況

(1) 第1回理事会・評議員会

- と き 平成22年5月26日
- ところ かでる2・7 9階 940会議室
- 理事会の内容
 - ・平成21年度事業報告
 - ・平成21年度収支決算報告及び監査報告
 - ・財団法人北海道生涯学習協会事務局組織及び職制規程の一部改正
 - ・人事案件 ① 理事及び監事の選任 (報告)
 - ② 評議員の選任

- 評議員会の内容
 - ・平成21年度事業報告
 - ・平成21年度収支決算報告及び監査報告
 - ・財団法人北海道生涯学習協会事務局組織及び職制規程の一部改正
 - ・人事案件 ① 理事及び監事の選任

(2) 臨時理事会

- と き 平成22年6月10日
- ところ かでる2・7 9階 団体会議室
- 内 容
 - ・会長・副会長及び専務理事の選任

(3) 第2回理事会・評議員会

- と き 平成23年3月25日
- ところ かでる2・7 10階 1010会議室
- 理事会の内容
 - ・平成23年度事業計画
 - ・平成23年度収支予算
 - ・人事案件 ① 評議員の補充選任
 - ② 理事の補充選任 (報告)
 - ③ 最初の評議委員選任方法
 - ④ 最初の評議員選定委員会運営規程

- 評議員会の内容
 - ・平成23年度事業計画
 - ・平成23年度収支予算
 - ・人事案件 ① 理事の補充選任

(4) 会計業務等監査の実施

- と き 平成23年5月16日
- と ころ かでる2・7 9階 団体会議室
- 内 容 平成22年度財産の管理状況及び一般会計・特別会計に係る業務の執行状況の監査

2 事業の実施状況

(1) 生きがづくり生涯学習促進事業

国際化、高齢化、情報化等社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために、「生きることは学ぶこと」の視点から、道民に学習の機会を提供するため、全道10教育局管内で講演会やシンポジウムを開催した。

実施期間 6月～2月
研修会場 標津町ほか8会場
参加人員 595人

(2) 広報紙発行事業

会員及び生涯学習に関係する機関に対し、全道各機関・関係団体の活動状況や調査研究資料等を紹介し、情報を提供した。

広報紙名 「ほっかいどう生涯学習」
発行回数 4回 (No. 85～88号)

(3) 「ほっかいどう学」かでの講座事業

「ほっかいどう学」の推進を図るため、かでの講座を開設し、道民への学習機会提供の拡充を図った。

講座回数 20回
開催期日 5月7日(第1回)～2月25日(第20回)
会 場 かでる2・7
受講者数 1,226人

(4) 「ほっかいどう学」大学放送講座支援事業

広く道民の学習活動を支援するため、大学放送講座のテキストを作成し、学習活動への活用を図った。

作成部数 500冊
発 行 9月

(5) 「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業

北海道各地の「地域学」に関わる学習活動（講演・実践発表・研究協議）を通して地域づくりに貢献する人材の育成を図った。

また、地域間のネットワーク化の促進を図るとともに、地域ボランティアの育成に努めた。

開催期日 10月10日～1月22日
会 場 6会場 7回
内 容 基調講演・講義・実践発表・協議
受講者数 342人

(6) 「道民カレッジ」ボランティア（カレッジ・ボラ）活動支援事業

道民カレッジの充実を図るため、「道民カレッジ」ボランティアを置き、カレッジ生同士の情報交流をはじめ、事務局支援のほか地方ボランティアとのネットワークを推進した。

人 数 103人
活動場所 かでる2・7及び各地域
活動内容 相談活動・広報活動・講座活動・組織活動等

(7) ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業

学習ニーズの多様化、高度化に対応するため、学ぶ意志のある道民のすべてを対象とし、産学官が連携して総合的な学習機会を提供するとともに自立した北海道の創造に寄与する人材の育成を図った。

○ 主催講座

① 「ほっかいどう学」大学放送講座

平成22年10月2日からHBCテレビ（北海道放送株式会社）で6回にわたって放送した。さらに、10月8日から再放送を実施した。

・レポート数 560通（10月～3月）

② 「ほっかいどう学」出前講座

平成22年6月20日のせたな町をかわきりに、6圏域12会場で住民参加による「まちづくりの実践講座」として実施した。

・全道12講座 431人

③ 連携講座

道内の高等教育機関、専修各種学校、市町村、研究機関、民間教育事業者、各種団体等で開催されている講座のうち、前期・後期併せて2,692講座を連携講座に指定した。

○ 普及啓発情報提供

① 印刷物の作成

「道民カレッジ」ポスター	(4月 2千枚)
「道民カレッジ」リーフレット	(4月 3万枚)
「道民カレッジ」ガイドブック	(9月・3月 各3万部)
「道民カレッジ」たより	(9月・3月 各5千部)
「大学放送講座」チラシ	(9月 3万部)

② 市町村・関係団体との連携（PR・事業説明）

○ 道民カレッジ学生数及び称号取得者数

- ① 学生数 24,677人（前年度比 807人増）
- ② 称号取得者数（実人数 261人）
- ・学士 459人 ・修士 310人 ・博士 229人 合計 998人
 - ・学長奨励賞 51人（1,000単位 40人、2,000単位 8人、3,000単位 1人、4,000単位 1人）

(8) 生涯学習情報資料の展示・提供事業（まなびの広場）

生涯学習に関する図書・資料等の印刷物を展示し、道内市町村・団体の生涯学習への取り組みや成果等を紹介した。

○ 生涯学習情報資料の展示・提供

生涯学習情報資料コーナーを「まなびの広場」内に設置し、大学や専修学校等で開催する公開講座などのパンフレットを展示し、道民カレッジとリンクした生涯学習情報を提供した。

○ インターネットを活用した学習情報の提供

道民カレッジ連携講座の最新情報を当協会のホームページから検索できるように設定し、学習者のニーズに対応した。

○ ふるさとコーナーでの各市町村の広報紙・パンフレットの展示

ふるさとコーナーを「まなびの広場」内に設置し、広報紙や各種パンフレットを展示し道内各市町村の様々な情報提供を行った。

○ 生涯学習関係団体等の活動紹介及び発表の場の提供

「まなびの広場」の展示スペースを活用し、道内各地で活動している生涯学習関係団体の実践内容を紹介したり作品等を発表する場の提供を行った。

- ・出典団体数 18団体

(9) 視聴覚教材貸出

市町村及び関係機関・団体に対し、学習活動に必要な視聴覚教材の貸出を行った。

- ・貸出件数 208件 ・貸出本数 484本 ・視聴人数 14,159人

(10) 北海道体育指導委員協議会事業受託

道内の体育指導委員の資質向上と機能の充実を図り、もって本道のスポーツの振興に寄与した。